



## 新会長就任にあたって



新会長 山田友一  
6月15日の金沢龍馬会総会で四代目会長に就任する事になりました山田でございます。  
私は、平成15年10月に富山龍馬会と共に発足した当会に入会し、同年12月の第一回総会から参加させていただ

ております。

会では、龍馬好きの他業種の方々と坂本龍馬をはじめとした幕末の英傑や歴史そのものについて話に花を咲かせておりました。

今回私が会長に就任して思いますのは、出会いを大切に坂本龍馬を中心に歴史研究会として誰もが気軽に参加して明るく楽しく歴史談議をして、そしてご自分の意見を遠慮なく発表できて次の会合が早く来ないかと思える会にしたいと考えております。

その中で、会員の皆様のご意見をお伺いして会として社会に何ができるかを模索していこうと思っております。

最後になりましたが、今年1月の能登半島地震では多くの人的物的被害が発生し、会員の中にも大きな被害を受けた方が数名います。

そのような中で、全国龍馬社中を中心に各龍馬会の皆様から多大なご支援やお見舞いをいただきこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今後とも金沢龍馬会をよろしくお願い申し上げます。

## 《19名の盛会だった総会 報告》

日時：6月15日（土）午後3：00～

会場：「桜はなび」（金沢市本町）

総会：議案は当日提示、承認

講演：川端真紀子 さま（穴水在住）

「R6年能登半島地震における地震保険について」

6月15日（土）「桜はなび」にて「金沢龍馬会総会」を開催しました。

参加者は、山田/不破/蛭子/中田/佐藤/吉田/紐野/中城/松岡/山崎/周藤/小幡/池田/加藤/堀野/川端/森川 会友 丸谷/寺岡 計19名でした。



### 一、総会

各種添付の如く議案を提案し採択されました。蛭子会長は敦賀に帰郷される関係で会長を辞任され、山田友一氏が4代目会長に就任されました。それぞれ辞任と就任のあいさつがありました。

運営委員には、堀野/松下両氏が就任されました。

### 二、講演会

川端真紀子様（穴水在住）

「R6年能登半島地震における地震保険について」  
穴水在住の川端真紀子様が「R6年能登半島地震における地震保険について」のテーマで話されました。

・地震保険は単独で入ることはできず、火災保険に入っていることが前提となる。

・火災保険の保険金額は実際の復旧に要した金額実損払いとなるが、地震保険は損害の区分に応じて一定額払いとなる。

・地震保険の保険会社に支払う保険料は火災保険の2倍ほどで、補償される保険金は開催保険の30-50%となっている。

なぜなら、火災は特定の家屋が対象だが、地震はその地帯全体の家屋に影響が出るため損害の規模が大きく、求償規模が大きいためである。

・地震保険の割引制度は建築年割引、耐震等級割引、免振建築物割引、耐震診断割引がある。

・地震保険の支払保険料は地域の地震リスクがあるので、都道府県によって違う。石川県は安い、地震が予想される地域は（例えば静岡県、神奈川県、東京都など）高い。

・地震が発生すると鑑定人が現場へ行き実際の損害を受けた家屋の損害を鑑定する。

目視で判断する。建築基準法による主要構造物（柱、梁、外壁など）の損害状況を診る。

なお内壁や各種機器は対象外（それらは別途物損保険に入る必要がある）

・鑑定人が判断し求償申請書を提出後、最短で1週間程度で求償される。（地震の状況次第で鑑定や書類提出の方法が違う場合がある）

・主要構造物の損害を全損、大半損、小半損、一部損に分類するが、全損でも建物の時価の50%しか支払われない。

つまり火災保険は実際の損害が補償されるが、地震保険は全額とならない。

・地震保険の対象とならないものは●土地 ●商業施設（店舗や宿泊施設） ●機器などの物品

・地震保険は明日の生活もままならない状態で自分の力で生活するための資金の一部となる。

### 三、親睦会

森山さん提供の料理とお酒のおかげで忌憚なく相互に懇談しました。紐野県議の乾杯の挨拶がありました。

順不同で下記の方々から発言がありました。  
中田/丸谷/寺岡、引き続き松岡/山崎/周藤/小幡/池田/  
加藤/森川の方々より近況が語られました。

そして不破県議が中締めをされました。  
いつものことですが、桜はなびの守山さんにお世話になりました。

## 《龍馬会全国大会 第36回龍馬 World in 和歌山》

報告：吉田信夫事務局長

日時： 7月13日（土）

場所： 和歌山市

龍馬会全国大会が7月13日和歌山市にて開催されました。金沢からの参加者は中城/吉田夫妻の3名でした。大会は全国から参集し500名を超え首都圏以外の大会としては盛況でした。

近畿北陸ブロック内各龍馬会の参加も多く、ブロック内全国大会とのことで受付をはじめ協力を惜しみませんでした。ちなみに金沢龍馬会は東海ブロックの受付を担いました。

### ◎ オープニングは堺太鼓、抜刀術

挨拶はご当地責任者以外に、今回の主題である不平等条約改正を行った陸奥宗光にちなんで外務省からの祝辞や、先祖が龍馬や宗光と縁のある前参議院議長山東照子参議院議員の挨拶がありました。

### ◎ 基調講演

参議院議員で髭の隊長として有名な佐藤正久氏による「不平等条約改正 130年と現在の日本」

同じく基調講演が皇學館大学文学部教授松浦光修氏による「龍馬の八策 一神願の心」がありました。いずれも現代日本の問題点をえぐり出す内容でした。

（ご興味のある方は録音があります）

### ◎ 報告

「坂本龍馬を教育に活かす活動」（署名活動）と「伊呂波丸 引揚げ有志の会・海援社」（イロハ丸を瀬戸内海海底から引き揚げて大阪に展示するとのもの）の発表がありました。

### ◎ パネルディスカッション

パネルディスカッション「龍馬と宗光 未来への伝言」があり、坂本家10代目坂本匡弘氏と日野新選組同好会名誉局長 峰岸弘行氏が双方の遺恨を超えて絆を結びました。

### ◎ 次回開催地との引継ぎセレモニー

次回開催地との引継ぎセレモニーを行いました。来年はタイのバンコクと高知の同時開催です。どちらに参加されても結構です。Zoomを結んでの大会です。（ちなみに再来年は名古屋の予定です）

### “夏季ミニイベント第一弾”

てんこく

### 【篆刻教室 開催！！】

8月10日（土）金沢市幸町の石川県書道教育研究会で篆刻教室を開催しました。

参加者は中村/工藤 2名。

それぞれ朱文・白文及び1文字・2文字に挑戦。お一人はお兄さんの名前、もうお一人はご自分の雅号を刻しました。

お二人とも中田總山老師から雅号を頂戴しました。なかなか良い出来栄です。

### “秋季ミニイベント第二弾”

### 【前田家墓所&島田一郎墓碑巡り】

9月7日（土）前田家墓所&島田一郎墓碑巡りを行いました。

参加者は中田/佐藤/吉田/堀野/松下/川端 越前から前田/香川/高村 そしてリーダーは松岡先生 計10名でした。

野田山にある前田家墓所駐車場で集合。次に前田家墓所を参観。

以下のカッコ内は利家との関係。利長（長男で二代目藩主）、松（正室）、利久（兄）、利家、更に豪（娘で幼児時に秀吉の養女となり宇喜多秀家の妻）の墓を拝見。いずれも先の地震で壊れており応急処置はしているものの多々問題があります。

同所には歴代藩主や関係者の墓が続きますが、今回は省略しました。

次に石川県戦没者慰霊地へ行き、戊辰戦争・西南戦争から第二次世界大戦戦没者墓所、具体的には日露戦争、対中事件・事変、その他の墓碑、更にロシア人墓地を見学です。

引き続き大乘寺へ移り本多家墓地で仇討ち十二義士関係、総理大臣林銑十郎墓所などを巡りました。

そして山側環状線を超え、北越戦争小川隊盡忠碑、名優嵐冠十郎顕彰碑を経て、明治11年紀尾井町にて時の内務卿大久保利通を暗殺した島田一郎以下6名の墓碑を参観しました。ここは昭和3年に「明治志士敬賛会」が建立したものです。

その後野々市にある野々市市郷土資料館へ移り、珈琲などを飲みながら松岡先生のお話を拝聴しました。古文書や各種資料を提示され豊富な歴史知識を基として解説されました。

福井からの参加者の中に本日の墓碑巡りや松岡先生のお話しが良かったと言われた方がおられ参加者は皆一応に満足されたようです。



## 志士たちが活躍した長崎とは ②

### 吉村寅太郎

明治24年明治政府は土佐の志士である坂本龍馬、中岡慎太郎、武市半平太、そして吉村虎太郎に正四位を授けた、土佐四天王と呼ばれた。

虎太郎は寅太郎とも称する。長崎に来たことはないが九州に足を踏み入れている。

天保8年(1837年)土佐の庄屋の家に生まれた。真崎哲馬や武市半平太に剣術を学んだ。

ある件で他の庄屋と連名で訴状を出したため転任させられ、安政6年(1859年)梶原で働いた。

武市半平太が文久元年(1861年)土佐勤王党を結成すると加盟した。武市の用向きで長州へ行き日下玄瑞に会った。

その後九州筑前の平野國臣と出会い、薩摩島津久光の兵を率いた上京と浪士の拳兵計画を聞いた。

吉村は土佐へ戻り土佐勤王党もこの動きに参加することを主張するが入れられず、土佐を脱藩する。その後、龍馬や沢村惣之丞が脱藩した。

虎太郎は各地出身の浪人と大阪で久光軍一行の到着を待っていたが、久光軍の目的は公武合体であったため、京都伏見寺田屋で捕えられ薩摩藩邸から土佐藩に引き渡された。土佐で8ヶ月獄につながれた後、釈放された。

その後文久3年(1863年)自費で京都に遊学した。同時期朝廷は幕府に攘夷決行を約束させ、長州藩は関門海峡で外国船を砲撃したが敗戦した。

同年8月13日攘夷派公卿の画策で大和行幸の詔が発せられ孝明天皇が大和の神武天皇陵を参拝するのに乗じて攘夷派兵士が拳兵し倒幕するというものであった。虎太郎達39名が京都を出発し、大坂、堺を通過し、南河内富田林で13名が合流、後村上天皇陵を参拝、楠木正成の首塚前で決起、そして五條に入った。

彼らを「天誅組」と呼ぶ。メンバーの内18名が土佐脱藩浪士であった。

8月17日大和五條代官所に討ち入り代官を殺害した。五條天領を「天朝直轄地」と布告し公卿で前侍従中山忠光を主将、虎太郎、松本、藤本を総裁とした。

しかし京都では次の日「8月18日の政変」が起き、三条実美など攘夷派公卿は追放され大和行幸は中止となり、天誅組は孤立した。

しかし虎太郎達は尊王の志の高い十津川へ赴き郷士たち約千人を組織した。

天誅組は近隣の諸藩に兵糧を求めたが、京都の政変を知られたため徐々に勢力が弱体化し9月に諸藩の追討軍が迫り、東吉野にて津藩兵士たちから一斉射撃を浴びせられ絶命した27歳であった。

なおその後の龜山社中関連では池内蔵太、石田英吉が中山忠光の警護だったため幕府軍から逃げるこ

とができた。

維新後は評価が変わり、天誅組決起は明治維新の先駆けと評価され、名誉回復、靖国神社合祀、正四位に叙せられ、墓所も奈良吉野、京都靈山墓地、高知梶原にあり、高知護国神社の祭神となった。

また奈良県南部、大阪河内各地区で毎年慰霊祭が開催されている。

参照：ウキペディア、奥河内から情報発信 他

高知梶原「維新の門」の一部分  
(手を広げているのが虎太郎)  
吉田撮影



### 【新入会員紹介】

135番 野崎 吉春さん

### 【編集後記】

皆さま、今年も宜しくお願ひします。心の中に常“龍馬の志し”を持ち張り切ってまいりましょう。会報も第41号が完成、漸く皆さまにお届けすることが出来ました。

\*\*\*\*\* 事務局\*\*\*\*\*

### 金沢龍馬会

会 長：山田友一  
事務局長：吉田信夫  
080-5600-1113

[jitianxinfu@hotmail.com](mailto:jitianxinfu@hotmail.com)

会報担当：中田俊郎 090-7806-2269

[n-toshio@muji.biglobe.ne.jp](mailto:n-toshio@muji.biglobe.ne.jp)

### 金沢龍馬会 公式ホームページ

<http://kanazawa-ryomakai.com/>

金沢龍馬会 facebook

<https://www.facebook.com/kanazawa.ryomakai?sk=wall&filter=2>

